



図 書 館

私の使い方

図書館のホームページをどれだけご存知でしょうか？ よく利用する方でも、蔵書検索やデータベースを利用するくらいで、そのホームページ内にあるコンテンツをすべて知っているという人は少ないのではないのでしょうか？ ホームページには普通の蔵書検索以外にも各国のノーベル文学賞受賞者の作家や有名作家の作品を中心にデータを収集した「世界を感動させた作家たち」があり、各国文学の和書と洋書のどちらとも検索可能です。有名な文学作品を読みたいけれど、どの作品がよいのか迷う方にお勧めです。この人知ってる！ という人が必ずいます。また、図書館が所蔵する貴重書を300冊以上も集めた「世界の美本ギャラリー」、更には、京都の地理や歴史、文化など京都に関する書物を集めた「京都から世界へ」など、様々な特色あるコンテ



日本語学科4年次生

西村 将太

ンツが目白押しです。どの本がいいのか分からない、あるいは、手っ取り早く調べたいという時にお勧めです。

また、「世界の言語と国際地域研究」というコンテンツは世界中の国の言語や文化、歴史などを国別にデータを収集しており、この国について知りたい！ という方にはお勧めです。日本と世界を取り巻く出来事や話題に関する本学図書館の蔵書資料を検索する「今、日本と世界は」というコンテンツもあります。

かく言う私も、図書館の業務を通じて、図書館のホームページの奥深さを知りました。ホームページにはいつもは使わないけれど、使ってみればものすごく便利な機能が盛りだくさんです。皆さんも、ホームページの色々な使い方を研究し、多彩な使用方法を見つけてみてはいかがでしょうか？